

移動等円滑化取組計画書

2020年 6月 16日

住 所 千葉県印西市船尾 1377

事業者名 ちばレインボーバス株式会社

代表者名 代表取締役社長 森 勉

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第9条の4の規定に基づき、次のとおり提出します。

I 現状の課題及び中期的な対応方針

・旅客設備及び車両等の整備に関する事項、当社が保有する乗合バス車両においては、2019年度末時点のノンステップバス導入率は67%にとどまっている。こうした現状を踏まえ、車両の更新と併せてノンステップバスの導入を推進し、2021年度までにノンステップバス導入率を74%まで向上させる。

II 移動等円滑化に関する措置

① 旅客施設及び車両等を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる旅客施設及び車両等	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
車両	・ノンステップバスを4台導入する。(2020～2021年度)

② 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
お客様用外マイク	・高齢者にもわかりやすいようにお客様用外マイク設置場所に文字だけではなく、絵の付いた外マイク案内表示を設置する。2019年度末時点で設置率は、43%になった。

③ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
行先表示器	・ 車内行先表示器のフルカラー化を進め見やすくする。 2019 年度末時点のフルカラー表示器装着率は 31%にとどまっている。こうした現状を踏まえ車両の更新と併せて 2021 年度までにフルカラー表示器の装着率を 50%まで向上させる。

④ 移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
乗務員の技術向上	・ 新人乗務員を対象とした高齢者、障害者等の乗降支援に関する教育を実施する。(2020 年度)

III 移動等円滑化の促進のためⅡと併せて講ずべき措置

定期販売業務に関する業務委託契約先と定期連絡を実施し、窓口に寄せられたお客の声を反映する体制づくりを行う。

IV 前年度計画書からの変更内容

対象となる旅客施設及び車両等又は対策	変 更 内 容	理 由
ノンステップバス	導入台数を 8 台から 4 台に変更する。	新型コロナウイルス感染症の影響で財政難の為。

V その他計画に関連する事項

・ 今後の新型コロナウイルス感染症影響の動向により、計画通り進まないことも考えられますのでご了承ください。

注 1 IVには、Ⅱについて前年度と比較して記入すること。なお、該当する対策が複数になる場合には、新たに欄を設けて記入すること。

2 Vには、Ⅱの欄に記入した計画に関連する計画（事業者全体に関連するプロジェクト、経営計画等）がある場合には、必要に応じ、その計画内容及び計画における当該事業者の位置付け等について記入すること。